(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 50文化振興費

#### ◎国際交流の経費

### 国際交流推進事業

文化推進課

#### 【総合計画上の位置づけ】

人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち 多文化共生社会:行政レベル、市民レベルともに世界に開かれたまち

#### 【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を図り、 国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。

効果 行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の 国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

#### 【事業の内容】

- (1) 国際交流推進事業
  - ・ 奨励金・親善友好バッジなどの交付や情報提供により、市民レベルで行われる国際交流・協力事業を支援した。
  - ・将来の国際交流・協力活動の拠点づくりを目指し、国際交流フェスティバルを開催した。市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。

#### 【中事業に含まれる実施計画事業】

国際親善交流の推進(1-3-4-①)

【事業費】 (単位:千円)

ı	当初予算額	当初予算額 】 予算規額		翌年度繰越額	<b>小川額</b>
ı	721	721 721 386			335
	主な支出内訳				
ı	<ul><li>国際交流推進事</li></ul>	事業			
ı	民間団体国際	50			
ı	市民通訳ボラ	0			
ı	市民通訳ボラ	52			
ı	国際交流フェ	209			
ı	国際親善友好	アバッジ作製委託料			0

# 事務事業評価シート

事務事業	■サービス		生推-04	国際交流	推進事業					
No./名 称	口支 援 沿	1				1				
事務事業	ザイムス		国際交流	奨励事業等						
単位	コード及び 個別事業									
	名									
主管課	文化推進認	<u>.                                    </u>			関連課	秘書課				
分野名	多文化共生					I he m Helv				
目標	国籍や文化	上の違いを認	忍め合い、タ	ト国籍市民と	ともに暮らし	やすい地域	づくりを進る	かます		
(目標値)				活動を支援し						
人口等の データ	データ区分		年度		年度		年度	備 - タ 矢 4 日 1	考	
7-9	世帯数		484人 0世帯		175,902人 76,536世帯		<u>)51人              </u> 1世帯	・各年4月1日		
	E 111 20	77,10	о — П	70,00	70,030 <u>E</u> m		· <u>— , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			
運営資源	決算値	386	千円	429	千円	236	千円			
状 況	(国・県)									
	(負担金等)	386	千円	429	千円	236-	千円			
	人員配置数		<u>- 1 1 3</u> 5人		<u> </u>	0.5				
	人件費		3千円	4,721	1千円	4,740	千円			
	協働のパートナー	国際交流·協	力団体連絡会	国際交流·協力	力団体連絡会	国際交流·協力	力団体連絡会			
事務事業運営経費	総事業費	5,199	9千円	5,150千円		4,976	千円			
是古作员	市民1人当 りの経費	29円		29円		28円				
対象者1人				_						
00左曲車型	当りの経費		ᇵᇿᄵᇄ	1 個叫声樂	)   古光はハ	一番上に	して可りは			
個別事				ンた個別事業 「点・変更理由		りの代点に		.の評1四 T		
凹加于	未包	发史領(十门)	サ未の友気	点 发史任田			妥当性※	  ※妥当性の	評価	
								① 必要性		
								② 民間		
								③ 国・県 ④ 現行どる	おり(鎌1	含市)
指	 標	評	一	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度	
市民通訳ボラ				目標値	20		20			20
応言語数		7	×	実績値	20					
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(	年度)
国際交流フェ			9	目標値	18	19	19	20		20
の規模(参加				実績値	19					
指	標	Ē <del>1</del>	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(	年度
				目標値 実績値						
指	 標	評	一	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(	年度
				目標値						
				実績値						
	:目標を達成			て前進してい	る △:横Ⅰ	ばい ×:征	後退している	)		
ベンチマーク	7(県内外自	治体や民間 I	団体との比	△較値)	ı	ı		I		
団体名			<del> </del>	+		-				
			1	1	I	<u> </u>				

## 平成21年度事務事業評価シート

			1 12/21	<u> </u>	为于木匠							
創意・工夫・	課題・問題点	(20年度事務	務事業を実	施する <b>う</b>	えでの課題	頁•問題点	は、どの	つようなこ	とでした	か)		
課題等改善状況	<b>課題・問題点</b>	・「国際交対 団体の考え	<b>売・協力</b> 団	体連絡	会」の目的	的のひと	つであ	る「活動	拠点の	整備」に		
	創意・工夫・課 題等の改善点 20年度の成果	Ⅰ・団体間の情	青報提供を 事業の実施 の整備」に	目的とし7 色により、 こついては	た「情報か 市と団体、 、、「国際交	わら版」 また、団	の発行や ]体相互(	□国際交 の関係は	流フェス 維持され	ミティバリ こている	レ」の 。	開催など継
	未解決の課 題・問題点	<mark>(20年度事務</mark> ・「活動拠点 り、検討され などから考	iの整備」 いており、	について 方向性を	ては、「国I よど整理さ	際交流・ されてき	·協力団 たが、各	体連絡:	会」の参	:加団体	の有	
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応で ・「情報かれ 効果がある 力団体連絡 の状況など	oら版」の ため引き A会」の参	発行や「 続き実施 加団体の	国際交流 もする。ま の有志に。	でフェスラ た、「活 より、方	Fィバル 動拠点 向性な	」の開催 の整備」 どは整理	は、交 につい されて	売事業。 ては、「	<u>として</u> 国際:	一定の 交流・協
				————————————————————————————————————	(課長語	亚/無 \						
							_ = ##		Ī			
人纵の士力料	「活動拠点の割	A:充実又は B:現状のま	ま継続	D:廃山	3又は縮/ - 又は休」 カ注動を	止	E:事業等		生を図し	B		善の必要性 有 効率
「一体の方向性	的な組織づくり	に取り組ん	で行く。	<b>へ</b> <i>い</i> に	<u>知</u> で、	מוויל נו	—————————————————————————————————————	- CV/圧1	<u> </u>	נים אויי	ጥር ሳንር (	<i></i>
担	当課長氏名:						宮崎	淳 ———				
			二	<u>次評価</u>	(部長語	平価)						
		* 本中ロロ	- +++ - <b>-</b>	0.4+ ^	· 中 / 土 / 亡 ·		- 市 **	5 <b>7</b>			_,	* ~ » <del>* *</del>

	A:充実又は拡大	C:統合又は縮小	E:事業完了	В	改善の必要性
		D:廃止又は休止			有
予後の方向性	「活動拠点の整備」については、国際:活動目的などの状況を踏まえ取り組んさらに充実した活動が行われるように考える。	しで行く。今後も市民団	体間の情報の共有化 <sup>-</sup>	や連携の強	化により、
担当部名	生涯学習推進担当	部長名	金川	剛文	